

長崎短大生が
お点前を披露

茶道大会

佐世保

「茶道文化」を必修科目に取り入れている長崎短大（佐世保市椎木町）は13日、学生の学びの成果を披露する「茶道大会」を佐世保市栄町の佐世保玉屋など2カ所で開催した。写真。

同校では、日本の伝統的な文化や礼節を身に付けるため、全生徒が平戸藩発祥の武家茶道「鎮信流」を学んでいる。この日は和服姿の学生ら約480人が濃茶席や立礼席などで来場者約千人をもてなした。韓国や中国の姉妹校の学生による茶席も設けられた。

お点前を披露した2年榎本万由香さん(20)は「茶道で礼儀や言葉遣いを学んだ。緊張したけど、流れよくお茶をたてられました」と話した。(梅沢平)



日中韓のお茶どうぞ

長崎短大（佐世保市椎木町、安部恵美子学長）の学生約480人が「茶道文化」の学修成果を披露する茶道大会が13日、佐世保市栄町の佐世保玉屋などを会場に開かれた。中国と韓国の茶席も設けられ、国際交流の場となった。

チマ・チョリを着てお茶を振る舞う釜山女子大の学生



富士国際ホテル



ヨカ茶道を披露する厦門大嘉庚学院の学生



濃茶席でもてなす長崎短大の学生

同短大を運営する学校法人九州文化学園が市民らの支援などで創立70周年を迎えたことから、和服の学生たちは感謝の気持ちを込めて鎮信流の濃茶席と立礼席でお点前を披露した。友好校の韓国・釜山女子大から14人、中国・厦門大嘉庚学院から9人の学生が

長崎短大生ら 感謝込め、お点前披露

参加。釜山女子大の学生はチマ・チョリで韓国茶席の味を、嘉庚学院の学生は白い服でヨカ茶道に沿って入れたウーロン茶を振る舞った。

濃茶席で茶をたてた長崎短大2年の上野晴菜さん(20)は「失敗もしたが落ち着いてできた。おいしかったと言ってもらえた」、釜山女子大3年のキム・ガジンさ

ん(21)は「国際交流の大切さ、感動を覚えている。来てよかった」、嘉庚学院4年の程雅之さん(22)は「友情を深めることもできた。参加できてうれしかった」。茶道大会は39回目。佐世保玉屋と、常盤町の富士国際ホテルに設けた茶席には市民も含め延べ約千人が訪れたという。佐世保の風物詩にもなっている。(石田謙二)